



朝日町の産業をさぐる

宮崎わかめ

四方海にかこまれている日本列島は、海の幸にめぐまれたところである。万葉集に

しかの海人はめかり 塩やきいとまなみ くしげの をくし 取りもみなく(巻三)

と詠まれているように、遠いわたしたちの先祖の時代から、わかめは食膳にのせられていた。

わが朝日町宮崎地区は漁村として古い歴史を持つている。そうした歴史の以前、縄文時代から、魚をとることがおこなわれていたことが、

昨年以来の宮崎遺跡の調査による出土品によつても立証された。もちろん海辺地帯に住居をいとなむ者の必然的な産業ではある。ことに宮崎海岸は、一大暗礁地帯をなして、わかめの着生には適地であり、漁業をいとなむためのいろいろな条件をそなえている。

わかめといえは、富山湾の宮崎海岸のわかめ(灰付)とあげられるほど有名であり、沿岸漁業の年毎に不振の度を深めていく最近の宮崎では漁業生産品の筆頭にも数えられようとしてゐる。昭和三十八年には宮崎漁協組取荷総数量は、六千二百キロで、六千キロ、七千キロの収量があった。ところが、昭和三十九年は、国道八号線城山トンネルのくつつさくによる粘土の流土で、宮崎浜有史以

来の大不作となり、わずかに、四百キロの収量であつた。四十年には三千五百キロ台によりやく復活したものの、今年度はまた、水温その他の影響をうけて、二千キロ台の不作の年となつた。

近年、とる漁業から養殖する漁業へと発展する過程をたどつてゐることは衆知のことである。わかめにおいては早くから養殖事業はおこなわれている。国と県、そして地元との資金によつて、岩礁爆破がなされてゐる。岩礁爆破というのは、陸でいえば畑をたがやすことで、わかめの胞子(たね)が附着しやすいようにするためのものである。

神聖視されてきた山々は、心ない登山者によつてあらされ、町や村を流れる川という川は、すてられたごみ、くずなどであらまつてゐる。最近の自然を愛しない一般の風潮は、海にまで及んで、海底のよこれは年を追つてひどくなつてゐる、そのためにわかめの着生、成育には大きなさまたげとなつてきたようである。太平洋沿岸では、すでにロープを海中にふ設して、わかめの養殖を始めて成果をおさめつつあると聞いている。

宮崎海岸でも一昨年、この方法でもつてわかめの養殖を試みたのだが、特にしけのひどい宮崎海岸では、わかめの芽ばえまで見たけれども、その後大波のために、ついにロープがちぎれて流れ去ってしまった。失敗だったが、施設に今一度工夫をこ

らすことで、将来に希望が持てるのではない。岩礁養殖とロープ養殖との両面からその増産をはかつて、わかめ産業をして、ますます将来に発展せしめ、日本的なわかめの逸品「宮崎わかめ」の名声を持ちつづけていきたいものである。

納期は

七月一日から八月一日まで

所得税第一期分の

◎あなたの所得税第一期分の納税額は予定納税額通知書の第一期分欄に記載されている金額です。

◎口座振替による納税の手続を申し込まれた方の納付書は、税務署から直接指定された金融機関へ送付いたしますから、納期限にあなたの預金から振替えて納税できるよう準備をお願いします。

◎納税は最終納期限(八月一日)といわず、早目に完納するようにいたします。

(魚津税務署)



今月の

税金は

固定資産税

第二期分です

(税務課)

第二回朝日町議会臨時会(五、三二) 付議事件

報告第一号専決処分報告承認の件

専決第一号昭和四十年年度朝日町一般会計補正予算(第五号)

追加額 三、五一一千円

総額 三四四、九〇五千元

専決第二号昭和四十年年度朝日町泊病院特別会計補正

予算(第二号)

追加額 一八、五〇〇千元

総額 一一一、〇九九千元

専決第三号昭和四十年年度朝日町家畜診療所特別会計

補正予算(第二号)

内容は補正のみで増減なし

報告第二号専決処分報告承認の件

専決第一号朝日町税条例の一部を改正する条例

議案第一号朝日町公民館設置条例一

部改正の件

境公民館は消防屯所、大家庄公民館は元支所に設置されていたのを

境は境農協、大家庄も大家庄農協に移動するもの。

以上三件については、原案どおり可決あるいは承認された。

次に黒東合口用水組合議会議員の補欠選挙が行なわれた結果、

金山 二、三二七番地

清水 一 雄(四八才)

が当選された。

ひき続き全員協議会開会

付議事項

1.小川中学校増築について

技術室、理科室の増築について旧泊中学校木造校舎(現泊高校)を移築するもの、

事業費 五八〇万円

7.中央公民館建物(現警察官派出所)

2.越道峠園地造成について

越道峠に公園を造成するもの、

事業費 二二万円

内 補助金 七万円

3.観光費について

パンフレットの作成、城山附近観光設計調査、維持費、便所修理等を行なう。

事業費 六〇万円

4.宮崎海岸公衆便所新設について

事業費 三〇万円

内 補助金 一〇万円

5.自然博物館費について

鹿島樹叢前掲示板修理その他

事業費 七二千元

6.不燃焼物捨場借地及び整地について

事業費 八八千元

上候補者があいさつしたものを。

部落会、町内会、同好会、後援会などの会合に酒食をもってあい

さつに出て投票を依頼したもの。

戸別訪問はできない

選挙運動のために一戸一戸訪ねてまわることは、戸別訪問として禁

止されている。会社、工場などを訪ねることもいけないし、各

戸を訪ねるつもりで一戸だけを訪問するつもりで一戸だけを訪ねても、やはり戸別訪問に

なる。しかし、床屋とか商店でたま

にきた人に、その主人が投票を依頼することや、電話で投票を依頼

したり、あるいは、道路やバス、電車などの乗物の中で、たまたま会っ

た人に投票を依頼することは個々面接といつて、さしつかえない。

陣中見舞も選挙違反

新設について

現警察官派出所舎の移動した場合、その建物を中央公民館として

利用するための修繕及び維持費として七〇万円の経費を要する。

8.警察庁舎(朝日派出所)新築について

新築事業は県で行なうが、現庁舎を町で払い下げを受ける場合七〇

〇万円余の町費を要する。

6.泊高等学校後援会助成費について

商業科特別室増築第二期工事に伴い食堂等を設けるため、町援助九

〇万円の見込である。

以上九件のうち(7)、(8)の件については、一部交渉段階のものもあるが

基本的には、全案件了承。

第三回朝日町議会定例会(六、二四)

だれでも選挙運動に関して飲食物

をふるまってはいけないことになっ

てる。ただ湯茶とか、お茶うけ程度

の菓子ならさしつかえない。また運

動員に出す弁当についても、一定の

制限のもとに認められる。

付議事件

議案第一号昭和四十一年度朝日町工場誘致特別会計補正予算(第一号)

追加額 二七、八一六千元

総額 三五、四六九千元

議案第二号朝日町消防本部条例一部改正の件

消防士長 一人を二人にし

消防士 五人を四人に改める

議案第三号公平委員会の共同設置について

地方公務員法の改正に伴い、公平委員会の業務が増加されるので、

経費等の関係、県下町村が共同で設置することになる。したがって

現在の黒部市、入善町、宇奈月町との共同設置はこれを廃止される。

以上三件原案どおり可決される。

違反の例

○ 通行人を選挙事務所に呼び入れて酒食をふるまったもの

○ 陣中見舞として酒食を候補者に贈ったもの。

(朝日町明るく正しい選挙推進協議会)

選挙法の常識

選挙運動の禁止される

事前運動は禁止される

選挙運動のできるのは、立候補の届出の日から投票日の前日までである。したがって、立候補届出前の選挙運動はいわゆる事前運動として禁止されている。

違反の例

○ 第三者が立候補予定者と共謀して「○○先生を囲む会」の名目で

運動員が選挙人を後援会結成名義であつめ、酒食をふるまい、席

や、候補者、選挙人、選挙運動員をおどかしたり、演説、集会、交通等を妨害したり、選挙用のポスターを破いたりして、選挙の自由をさまたげると処罰される。

違反の例

○ 陣中見舞も選挙違反



酒のめ運転

交通安全協会
黒東交 入善警 朝日町交通対策協議会

町指定文化財紹介 (2)

◇木造薬師瑠璃光如来座像
朝日町指定文化財第四号の、木造薬師瑠璃光如来立像は、大家庄(柳田)天香寺の本尊である。
天香寺は弘安元年(一、二七八)



相州鎌倉の建長寺十二世徳紹和尚の開創である、その後衰微したが、永正元年(一、五〇四)美州(岐阜県)龍泰寺の明琳和尚が再興した。現在まで六百八十年の歴史がある。地方

まねにみる古刹である。元大家庄門前地(現在の光榮寺附近)に在つて大伽藍であつたが兵乱にあり焼失し現在の地に享祿年間(一、五三〇頃)千葉縣総寧寺十

て再建された。薬師瑠璃光如来座像は兵火の難をのがれ現存したものである。

薬師瑠璃光如来座像は昔時井口城主館弾正が主護仏として奉持したが、天文十二年(一、五四二)上杉の兵乱に落城した後、家老井口蔵人が天香寺へ納め安置したものである。

この仏像は木彫座像の小仏像で(約十糎)、仏体には金箔あるいは鍍金が施されてあつたものの如く残跡があり、蓮弁には群青が塗装されている。刀痕も鮮かながらさびしさがあり、森嚴の相を含み、鎌倉時代作風のふくむ芸術品として貴重な作で、足利中期の作と推定される。(教育委員会)

婦人会だより

最近、産業の発展と社会の進歩につれ、婦人の社会への進出が目ざましく、いわゆる出稼ぎが毎年増加しているが、これに伴つて家庭の主婦たちから、乳児の保育施設の増強が強く叫ばれ、婦人会の方から町当局に対し早速な増設要望が出されていたが、本年四月、泊東部保育所が開設され、これに待望の乳児保育のための乳児室が併設された。

この乳児室は、満一才以上、三才未満の乳児専用で、乳児七人に対し保母一人の割合で保育され、同保育所の乳児定員は七名であるが、目下なお多数の乳児保育希望のあることが予想され、今後の既有施設の拡充はもちろん、未設保育所に対する乳児保育施設は焦眉の急として、婦人団体をはじめとして関係者間で実施がのぞまれている。

朝日町美術同好会結成

朝日町在任の美術家の間では、郷土美術の振興と在住作家同志の親睦を図る目的から、かねてより美術団体の結成が叫ばれていたが、今般その初会合が行なわれ、役員その他簡単な規約の制定を行ない、その名称も「朝日町美術同好会」として発足した。なお、従来黒東一円や旧郡市内単位で美術家団体の結成がなされていたが、めざましい活動もなく、朝日町単位の美術団体の結成がなされたのは今回初めて、美術人口の増加と共に本団体の今後の活動が期待されている。

また、同会の名称が示すように、会員は美術作家のみならず、美術に愛好を寄せる者誰でもが参加できることになっており、同会では同好の志の入会を募つている。

- なお同会では発足第一回記念として、鬼遠祭を期して、荒川通り杉原呉服店階上を画廊として会員の作品展を開催した。
- 同会の主な役員次のとおり
- 会長 谷口山郷
 - 副会長 間部善治
 - 常任理事 長崎助之丞
 - 同 事 滝瀬満夫
 - 監 事 殿村謙太郎

民生課からのお知らせ

三才児検診
昔から「三ツ子の魂百まで」といわれる位、三才児は幼児期を通じて心身の発達上、最も重要な時期といわれています。人間の機能の最低限のものを習得し、独立期を迎え、一個の人格が形成される時期で、この時における心身の影響は、将来への人間形成を大きく左右する、最も大切な時期であります。

朝日町においては、三才児検診を次のような日程で実施いたします。該当者には必ずご案内いたしますから、可愛いお子さんの成長

三才児検診日程

日時	該地区	時間	会場
7.13	大家庄	1.30~3.00	大家庄農協
7.18	山崎	1.30~3.00	山崎連絡所
7.22	泊	1.00~3.00	泊公民館
7.26	泊	1.00~3.00	泊公民館
7.29	境	1.30~3.00	境連絡所

◎住民検診

15日 10時~11時30分 大平公民館

(大平)

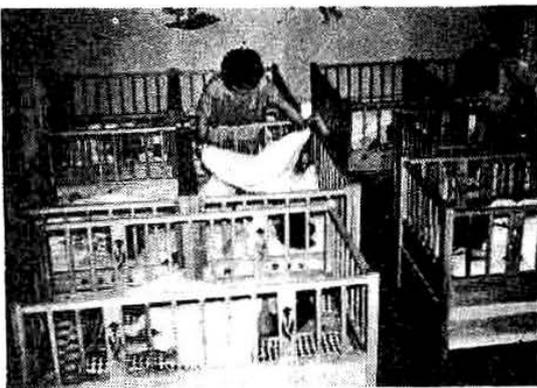
1時~4時 神田町検査
(神田町、橋向町、東下町、宮)

◎乳児相談

11日 1時30分~3時 山崎連絡所 (山崎地区)
12日 1時~3時 泊公民館 (笹川、宮崎地区)
19日 1時30分~3時 農業センター

◎妊婦検診、母親学級

21日 1時~3時 泊保健所 (民生課)



(写真は、有志の寄贈による寝台に安らかな寝顔を見せる乳児たち)

てっぼう

「てっぼう」の免許取得講習会
八月中旬・中央公民館で。希望者は産業課へ

あさひ観光「夏の陣」

◎城山、鹿島樹叢の写真応募入賞作 朝日町観光協会で六月三日を期限に城山、鹿島樹叢の写真を集めたところ三十余点の力作応募あり、写真界で有名な中野峻陽氏の厳正な審査の結果次の方が受賞されました。

一位 樹叢の古木 能島芳夫
二位 城山と海 能島芳夫
三位 漁港と樹叢 石原宏一
四位 伸びゆく朝日町 小塚久子



生きる喜びを満喫ください。

◎ロータリークラブの認証式 「あさひロータリークラブの認証状伝達式」は去る六月十二日、泊中学校で県外約五〇名、県内約一五〇名参集して挙行され、町の伝統ある文化と城山、宮崎を实地紹介した。このためにクラブと町は該地を整備し、好意の日東紡七五名による宮崎海岸清掃の美化奉仕もあり、地元との協力で広く県内外にわが町を認識せしめたが、この後は「観光地をよごさぬよう」「自分のゴミは自分の手で」「ゴミの持ちかえり運動と環境美化の協力により、より以上の美しい町の発展を期したい。」

◎宮崎浜に公衆便所新築 タラ汁でにぎわい、石ひろいや磯づりで賑わい、海水浴でゴツタがえす宮崎浜に、七月二十九日の海祭りまでに、三十万円(県費十万円)でオシャレたモダンな公衆便所ができた。(産業課)

この一票に

未来をかけて

明るく正しい選挙運動に着手した連合青年団

八月十七日に予定された町長及び町議会議員選挙に備え、朝日町連合青年団では、今回も「明るく正しい選挙」運動を展開し、青年の政治に対する理解と関心を深め、政治意識の高揚をはかり、かつ「明るく正しい選挙」の実施を地域住民に呼びかける。

まず、運動期間中、町内要所に標語入り横断幕を設置するほか、各戸へステッカー、ちらしの配付、各要所にポスターの掲示などを行なうのを始め、町長選の立候補者に対しては公開質問状を出し、選挙に臨む姿勢や、今後の施策などについて考えをただす予定にしている。

またこの運動に使用する明るく正しい選挙運動の標語を広く一般団員から募集していたが、このほど締め切り、八十六点の応募作品の中から厳正審査の結果、次の五点を入選とし、十八点を佳作とした。これらの作品を今後、横断幕、ステッカー、ポスターなどに使用する予定である。

◆入選作
・この一票に未来をかけるわが町政
(泊・米田淳子)
・美しき一票で美しき町づくり
(大・森野 稔)

・正しく選んで明るい政治
(五・清水鈴子)
・そまつにするな、あなたの一票
(大・藤田紘一)
・あなたの一票、みんなのしあわせ
(境・水島 洋)

子供たちに健康で安全な生活を

夏休みにそなえて

梅雨明けと共に、いよいよ本格的な夏になり、もうすぐ学校の夏休みの時期に入る。児童生徒は学校を離れ、自主的な学習生活に入るわけであるが子どもたちは教師の監視の目を遠く離れるため、とかく不規則な生活に流れやすく、これに伴っていろいろな非行が発生するものこの時期であり、町教育委員ではこの間の子供たちへのびのびとした自主的な生活をのぞむ一面、保護者の監視の下、規律正しい日常生活の実践をのぞんでいる。

また、青少年の非行の原因はすべて大人の行為からといわれ、この予防は大人の社会全体の責任としてみんなの力で青少年を非行から守ろう

夏休みの大きな目標

1. 規律正しい計画的な生活
2. 自主的自発的な生活態度
3. 健康で安全な生活
4. 奉仕精神の養成



◎朝日小屋の再建 「禍を転じて福となす」、昨年九月台風でフツ飛んだ朝日小屋の再建は大連華山保勝会より稲村建訪が四九

連青だより

成果のあつた青研集会

連青主催の第六回青年問題研究会が六月十八、十九の両日、大家庄小学校で開催された。

これは変貌する現代社会の中で青年は何を考え、何を求めているかを青年同志で話し合う中から深い人間関係をつくり、青年の主体性を確立しようとする主旨のものである。

本年度は、楽しいキャンドル・サービス、室内レクリエーションなどを中に取り入れ、魅力ある団活動、

現代の青年、職業と職場、社会における青年の役割、の四つのテーマで七分科会に分かれ、それぞれ活発な討論を重ねた。

分科会終了後、国枝清作氏の「現代青年に望むもの」の講演があり、続いて全体討議に移り、各分科会報告、それに対しての質問などがなされ、参加百余名の団員が、現代の青年としての役割、使命などを改めて自覚した。

最後に野村町社教係長から青年らしいはつらつさが感じられたとの講評があり、今年度の青研を盛大に終えた。

今年度は特に、開催地大家庄青年

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六円
定価 六円